

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390200495		
法人名	ラブネットサービス株式会社		
事業所名	とんがりぼうし		
所在地	倉敷市玉島柏島688-1		
自己評価作成日	平成23年3月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3390200495&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ライフサポート		
所在地	岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO・会館		
訪問調査日	平成24年3月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様が「その人らしく」生活していただけるよう、「桜梅桃李」(桜には桜の良さが、梅には梅の良さが、桃は桃で素晴らしく、李は李で美しい。人まねをしなくても、それぞれの個性を生かし、自分らしく輝いていける。)の理念のもとに、スタッフひとりひとりが、「目指す介護」を掲げ、常に職員の間で意思統一を図り、確認しあいながら、日々のケアをさせていただいております。ご家族様と情報共有し、コミュニケーションを深められるよう、努めています。研修に積極的に参加し、自己研鑽、自己研磨し、スタッフのレベルアップに力を入れています。入居者様、ご家族様、職員の笑顔あふれるホームを大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年に続き、丸2年経過したホームを訪問した。「まだ2年ですか!」と思わせる生活臭が感じられるようになっていた。これはホームのレイアウトにもよっていた。玄関と入口の廊下は少し厳かを感じさせ、その廊下を少し進むと詰所があり、そこは清閑、そしてリビングルームと厨房に入ると、そこは利用者の生活の場で明るく楽しい快適な場所となっている。玄関から入って歩いてリビングルームに至ると、このように感じる場所の変化を感じた。ハードな作りと人間が醸し出すソフト面が上手く調和している。利用者はちぎり絵のようなクラフト作りに精を出すチームと自分の能力を研んでいる個人プレー組等で一人ひとりが自分の得意を活かして生活している様子が伺え、それぞれに向く配置で生活していた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員ひとり一人が日々心掛け、ミーティングでも理念をもとにしたものとなっている。	人間を見る目、固定概念で判断するのではなく、あらゆる視点からその人の長所を見つけ伸ばしていこうとする目線で利用者の能力も見付けようとしている。玄関脇に置いてある細長い等身大の鏡で一日一回我が身を見るのも良い。広い視野に立っているのが良い。	理念に掲げている内容は自己評価2～22項目に掲げている内容が達成できて満足できるものです。これらを総合して1年又は半年に1回後位毎に評価してもらいたい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に所属し、地域のお祭り、みこしにホームに立ち寄り頂くなど、積極的に参加している。行事でボランティアを呼ぶ際は、チラシを作り、公民館、ごみステーションに張り出さしてもらい、地域住民にも呼び掛け	管理者の話を聞いていると、町内会とこのホームの立地から見ると少し違和感のある感じで地域と馴染むのに苦労しているようだけれど、町内会長や地域の民生委員の方々に愛されそうな気配も感じてこれからも楽しみである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	他のグループホームと合同で地域ケア会議をさせて頂き、地域代表、民生委員の方へ認知症ケアの啓発を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加メンバーと積極的に意見交換し、サービスの向上に活かしている。	平成22年度は年6回運営推進会議を開催でき、町内会長や民生委員、家族と行政関係者も集まって色々話し合いが出来たが、平成23年度は少し停滞気味となっている。もう少し頑張ってもらいたい。	運営推進会議の運営が家族や地域の人々の参加意欲を増すものと思われるので、開催毎のテーマを決めて実のあるものにしてもらいたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の介護保険事業者等連絡協議会に加入し、積極的な研修参加をし、連携を深めている。	介護保険制度での運営や利用者に関する問題や疑問点があると本庁の介護保険課に相談したり指導してもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員の見守り法を徹底し、安全面に配慮し、センサーマット、玄関センサーを使用する等し、自然な暮らしを支えるようにしている。	身体拘束や虐待行為は職員全員の中では問題になることはあり得ないことであるが、安全と健康な点を第一優先することは当然なことであるので、リスク回避のためにはこういった行為が皆無とはいえないこともある。その時の職員の利用者に対する気持ちの大切さをよく話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングにおいて、よく語り合うことにより、入居者様の虐待につながらないようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	機会あるごとに職員に説明をおこなっている。実際に後見人と接し、話すことで職員も理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、面会時に、利用料金や起こりうるリスク、施設の方針等、十分な説明を行い、同意を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には、電話や面会時に近況報告し、積極的に意見交換を行っている。また、家族会では、担当職員が個別にご家族と話し合う等し、なんでも言ってくれる様な雰囲気づくりに努めている。	家族が気がついたこと、疑問点を口に出すようお願いして、家族から聞いた事を業務日誌に書いたり、申し送りノートに書いて職員に知らせる。1週間に1回職員間で近況を話し合う、例えば薬の量や種類など医師と相談して減らしていったこともあり、実生活に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングだけでなく、日々の業務の中で気づいたことや、ケアについて、職員に自由に提案してもらい、常時意見交換し、反映させている。	職員は気がついた事、改良したいことなどいつでも自由に提案し、常々意見交換している。例えば薬の投薬について、薬の保管チェックの方法、錠剤を投薬して口の中へ残る人などは粉薬に変更してもらう等が一例である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者も頻度に現場に来ており、現場の雰囲気の確認、職員と話す中で、状況把握している。また、個別に管理者と常時話し合える様に努めてくれている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外で開催される研修に、交替で職員が参加できるようにし、ミーティングで研修報告している。また、今年度より、ご家族に役立つものは、家族会で研修発表することにした。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の連絡協議会に参加し、他施設と意見交換や交流を図り、サービスの向上を目指している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で、自宅を訪問し、生活状況を把握し、本人、ご家族の希望を聞く時間を作っている。入所後は、施設の雰囲気馴染んで安心していただけるよう、努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の介護の悩みを受容し、事業所としては、どのような対応ができるか、事前に話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの早期実行を基本とし、状況確認し、改善に向けた支援の提案、相談するよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の可能性を見極め、できることをして頂き、やりがい、生きがいを持てるよう、日々努力している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の様子をこまめに報告・相談し、コミュニケーションをとり、協力して頂ける関係を作れる様努める。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人は自由に出入りでき、電話等での連絡を取り持ったり、暑中見舞い、年賀状を出す等し、つながりが途切れないよう、努める。	玉島・水島から来ている人が多いが、近々のスーパーに買物に行った時、その利用者の家族に会ったり、知り合いに会って話をすることもある。このホームのある地帯は昔ながらの川沿いの光景もなつかしそうだ。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞き、不安解消に努めたり、利用者間の関係が円滑になるよう、働きかけをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移られた場合も、生活環境、支援の内容、注意点など、情報提供し、連携をとるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりあいの中で、「家があるのに帰れない」等、利用者の言葉や表情などから、真意を推測、確認、把握している。 (22・目標計画達成)	認知症の人との付き合い方で、利用者の気持ちや希望、あるいは苦しみや不安等、心に抱えていることを知って、そのことを何気なく日常の支援の中に実際にしてくれることこそ嬉しい事であり、その意を汲みとれるよう努力している。例えば話の中に挟む“名前の呼び方”の工夫がある。	認知症の人が自分の生活に満足感を高める要因は自分の気持ちや苦悩を知ってもらっていると言う事が大きいと思う。利用者の中に実際を知るために具体的にどのような付き合い方であれば良いかを永遠の課題として考えてもらいたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境を把握する為、事前に家庭訪問し、本人や家族から聞き取りをし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを尊重し、その人らしく一日を過ごしていただけるよう、努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には、関わりあいの中で意見を聞いたり、スタッフ間でアセスメント、モニタリング、カンファレンスを行っている。	ケアマネジメントの柱は利用者のアセスメントをどれだけしっかりと出来る様式と記入方法を作り込めるかであり、ケアマネジャーもその改良に日々努力している。そこから職員の日常の支援とケアプランの作成に結びつけようとしている。	一人ひとりのアセスメントシートをどのようにまとめていくか、日頃の情報の収集の仕方と共に最も有益なシステムを考えてもらいたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に、本人の生活や言葉を記録し、申し送りノートを活用する等、情報を共有し、介護計画に活かしている。 (22・目標計画達成)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、ご家族の状況に応じ、買い物、ドライブ、散歩、通院等、必要な支援は柔軟に対応し、一人ひとりの満足が高められるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会に加入し、公民館、郵便局にホームの新聞を貼って頂く等し、地域で安全で豊かな暮らしを送れるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院は、本人や家族の希望に応じ、対応している。	提携医は病院・クリニックそして訪問看護ステーションと契約している。利用者の日常の診療はかかりつけ医にお願いしており、原則として家族が連れて行くが、ホームから情報提供をして診療内容及び薬はしっかり打ち合わせをしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は、医療の知識を勉強し、利用者の健康管理や相談を協力医に24時間連絡がとれるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、定期的に職員が見舞い、家族とも情報交換しながら、速やかな退院支援に結び付けている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心し納得した最期を迎えられるよう、随時意思を確認している。	丁度訪問した時にターミナルという段階ではなさそうであるが、食物や飲み物の呑み込みが出来ない人のケアをしていた。家族もよく来られ、その様子を見ながら、今後の生活と治療について刻々、日々その状態について話し合っていた。実際の状況に応じ医師、看護、家族と連携してケアしていく。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急の講習を受けたり、夜間帯の緊急対応マニュアル、緊急連絡網を整備し、周知徹底している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年2回、入居者と一緒に、避難訓練をしている。地域住民にも参加を呼び掛けている。	災害に対する消火、避難の訓練について運営推進会議でも話題にして地域の人々からの協力を呼び掛けをしていこうとしている。海・川に近い地帯であるが、高台にあるため安心感はあるが、これからは地震対応も考えて行く必要がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の思いを尊重し、自己決定しやすい言葉かけをし、さりげないケアを心がけている。	元気で自立に近い人と車椅子で生活している人等身体機能の差、認知症の症状出現の差によって、相手の人を見る目、見られる卑下の気持ち等で感情的トラブルもあり、特に食事をする時の席は配慮した配置をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの状態に合わせ、趣味等、複数の選択肢を提案し、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしのペースを大切にし、外出、ドライブ等、希望に合わせた支援が出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣の際の洋服選びや、化粧、マニキュア、又、本人のこだわりのスタイルも尊重し、一緒に買い物に行って洋服を選ぶ等、支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日のメニューは、利用者と相談し決め、調理から配膳、後片付けまで、食事に関わる事すべて、何らかの形で利用者と共にしている。	調理は勤務帯で職員の当番で、献立一調理一盛り付け一配膳すべてを調理場で毎食実施している。下膳一片付けも含めて利用者の当番も決めてあり、当番表が掲示されていて利用者も交代で協力しており、利用者と職員と一緒に食事を作り、食べている実感がある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量、毎食の食事量をチェックしている。検食簿を利用し、食材やメニューが重ならない様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立の方は声かけし、出来ない方は、毎食後のケアを行い、嚥下障害による肺炎防止などにも努めている。また、週に一度の訪問歯科で、口腔状態の把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、定期的な声かけ、誘導することにより、トイレで排泄できるように支援している。	排泄はマイトイレで、自室で排泄できるので、環境的にも整っており、便座に座って排泄するのが基本である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量のチェックをし、毎日乳製品を摂取できる工夫をしたり、家事や、日々の生活を通し、体を動かす様に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員が一方的に決めず、利用者の希望や体調に合わせ、入浴して頂いている。	2～3日に一度入浴できるようにしているのが基本であるが、生活の状況や身体状態によって入浴の日を決めるし、個人的希望があれば柔軟に取り組んでいる。身体的によっては2人介助で入浴してもらう。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活のペースで午睡したり、安眠できるよう日中活動も配慮し、生活のリズムを整えるよう努める。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋を個人ファイル、薬ケースに保管し、変更があった場合は、業務日誌に記入し、口頭でも申し送りを徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者ひとり一人の好きな事、出来る事を共に探し、達成感、喜びを感じていただけるよう、支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な買い物、特別な外出行事、ドライブ等、ひとり一人の希望を把握し、添えるよう支援している。	周辺の散歩、山歩き、周辺の公園に行く、季節の外出、ドライブ、外食等は季節が良くなればよくし外出をしている。外出表を作ってあり、個人的に片寄らないよう気をつけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様全員、家族が金銭管理している。その為、家族と相談し、おこづかい程度のお金を別口で用意してもらったり、立替え金で買い物し、本人が安心、満足できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人に、暑中見舞い、年賀状を出す支援を行っている。届け物のお礼や、近況報告を電話や手紙で本人ができるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせたフロアーの飾りつけは、利用者と共に考え、居心地良く過ごせるよう、工夫している。	季節を考えた作品がリビングルームに掲示してある。そして机の上では次のシーズンのはり絵の制作中であり、職員の描いた下絵に色、形状、種類別の部品を作り、仕上げ係と皆で大きな作品を作っていく楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	眺めの良い窓際にイスを置き、一人で過ごしたり、ソファーでは、気の合った利用者同士が、くつろげるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が納得するよう、家具等設置し、仏壇、位牌を置く方もおり、本人が居心地良く過ごせるよう、工夫している。	部屋には個人的な作品や自分や家族の写真、思い出の品物が飾ってある。中にはご主人の遺影や位牌が飾ってあり、毎日祀っている様子が伺える。それぞれの個性的な居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の身体状況に合わせ、その都度職員で話し、事故なく自立支援につなげていけるよう支援している。		